



持続可能なスポーツイベントを実現する
NGO/NPOネットワーク
Sustainable Sport NGO and NPO Network



参加費無料
事前申込制

2050年の環境・社会・経済～これからの私たち～

GEOCトークセッションVol.5

水と考えるまちづくり ～東京2020大会アクション～ 2月19日(水)開催

登壇者

藤野純一氏

地球環境戦略研究機関 (IGES)
都市タスクフォースディレクター
東京オリンピック・パラリンピック組織委員会 街づくり・
持続可能性委員会委員/脱炭素WG座長

瀬口 亮子氏

水Do!ネットワーク事務局長
SUSPON ごみゼロ部会

東京2020大会を目前に、都心のおもてなしとしての給水スポットの設置は「持続可能なまちづくり」へもつながる取り組みとして、皆様と一緒に考えます!



日時

2020年2月19日(水) 14:00～16:00 (受付13:30)

主催

地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、環境省

共催

持続可能なスポーツイベントを実現するNGO/NPOネットワーク(SUSPON)

協力

Refill Japan(水Do!ネットワーク)
日刊工業新聞社
株式会社OSGコーポレーション



環境省

2050年の環境・社会・経済～これからの私たち～

水と考えるまちづくり、東京2020大会アクション

2020年2月19日(水) 14:00~16:00 (受付13:30)

◆プログラム◆(予定)

14:00 開会挨拶(GEOC)

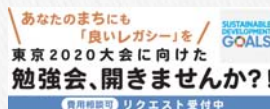
14:05 講演 藤野純一氏「東京2020大会におけるサステナビリティ推進の概要」

14:35 講演 瀬口 亮子氏「水をテーマにした持続可能なまちづくり市民提案」

15:05 対談 水と考えるまちづくりとは

15:45 まとめ

15:55 閉会挨拶(GEOC)



※この会合は地球環境基金の助成を受けて実施されます。

◆登壇者プロフィール

藤野純一氏

大学院時代は長期世界エネルギーシステム分析を行い、そのご縁で2000年4月に国立環境研究所入所。日本低炭素社会シナリオ研究で2050年までにCO2を大幅削減する社会を描いたことなどから、日本の温暖化目標値づくりや「環境未来都市」構想のコンセプトづくりに関わり、現在は特に都市の脱炭素・SDGsの取り組みを国内外で支援している。

瀬口 亮子氏

早稲田大学大学院法学研究科修了。国際環境NGO FoE Japan(フレンズ・オブ・ジ・アース)職員を経て、現在、水Do!ネットワーク事務局長、NPO法人環境市民理事・研究員、環境カウンセラー。主に廃棄物・3Rおよび気候変動・エネルギーの分野において、国内外の法制度や取り組み事例の調査研究、提言活動を行う。また、キャンペーンの企画運営、環境教育、環境のまちづくりに向けた連携コーディネートなど、様々な主体と協働で現場活動を展開している。

★SUSPONとは★

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを持続可能な大会とすることをきっかけに、その後の東京、ひいては日本や世界の持続可能な社会づくりにつなげていくことを目指し、関心を寄せるNGO/NPOがお互いに情報交換をしつつ、自ら当事者として活動し、関係団体や企業に働きかけていくことを趣旨としたNGO/NPOネットワークです。

【会場案内】

表参道駅(東京メトロ:銀座線・千代田線・半蔵門線)

B2出口を出て、そのまま青山通りを直進してください。右側に国連大学が見えてきます。

渋谷駅(JR・東急・京王井の頭線・東京メトロ)

宮益坂方面に出て、宮益坂を登ります。金王坂上交差点を直進、こどもの城のとなりが国連大学です。



申込方法

メールにて受付いたします。

(受付窓口) global@geoc.jp

参加定員30名に達しましたら受付を締め切らせていただきます。

<http://www.geoc.jp/activity/international/26636.html>